

現地視察「なぜ雲南市はコウノトリに選ばれたのか!？」のご案内

国の特別天然記念物・コウノトリのペアが雲南市に飛来し、その育雛中に雌が誤射されたことは皆様の記憶に新しいものと思います。その後、兵庫県立コウノトリの郷公園に保護された雛たちは無事に育ち、7月12日に雲南市にて放鳥されました。

雲南市では、放鳥した幼鳥、その父親の『げんきくん』を含む複数の個体がしばらく雲南市で滞在しています(10/5 現在は1羽が滞在)。また、コウノトリが繁殖した地元を含む様々な場所で、コウノトリの保全活動が本格的に始まりつつあります。まさに、コウノトリを活かした地域づくりの黎明期にあたるのではないのでしょうか。

本研究分科会では、昨年度の「コウノトリの保全・地域づくりの先進地である豊岡市への視察」を踏まえて、平成29年度の活動テーマを雲南市のコウノトリに決めました。

平成29年度は、広い行動圏(日本～韓国)の中でコウノトリがなぜ雲南市大東町を選んだのか、また、地元の今後の取り組みに向けた基礎情報の収集を目的として現地視察(1泊2日)を企画しました。具体的には、コウノトリが飛来した場所の視察(簡易な環境調査を含む)、地元の方との意見交換等を通じて、次年度以降の活動計画に反映させたいと考えています。

コウノトリに関心のある方、地域づくりに関心のある方、環境調査を体験してみたい方など、興味のある方はぜひご参加ください。コウノトリに会うことができるかもしれません。

1. 視察行程(最終行程は再度、お知らせします。)

■10月28日(土)

- ・09:00 ウエスコ島根支社 集合(予定)
- ・09:00～17:00頃 現地視察・地元との意見交換会など
※宿泊予定地:大東町山王寺(森のレストラン:棚田カフェ)
- ・18時ころから宿にて懇親会

■10月29日(日)

- ・09:00～12:00頃 現地視察・地元との意見交換会など
- ・～14:00頃 昼食後、集合場所にて解散
※1日のみの参加、宿泊なしの参加、途中合流・解散も可能です。
※最終行程は、地元との意見交換会の日程調整がつき次第、改めてお知らせします。



2. 参加費(全行程参加で5,000～7,000円程度)

- ・昼食:1,000円/回程度
- ・宿泊:5,000～7,000円(費用の一部は会からの補助を考えています。)
- ・懇親会:時価(当日買い出す予定です)

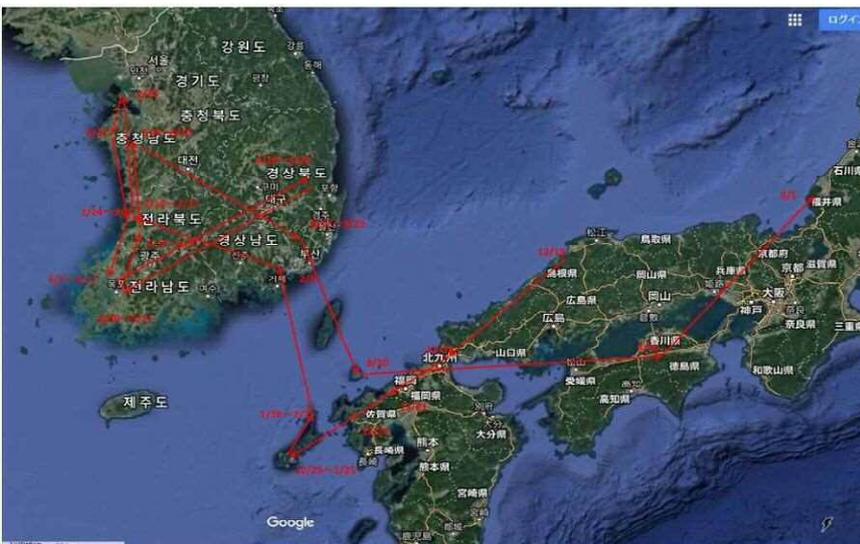
3. 申し込み

- ・申し込み先 : 大嶋 辰也(株式会社ウエスコ)
(E-mail: t-oshima@wesco.co.jp、 携帯:090-6849-3152)
- ・申し込み期限:平成29年10月23日(月)
※途中でキャンセルも可能です。興味はあるが現状で予定が不明な方も、申し込みしていただいてもかまいません。遠慮なく申し込みいただきたいと思います。

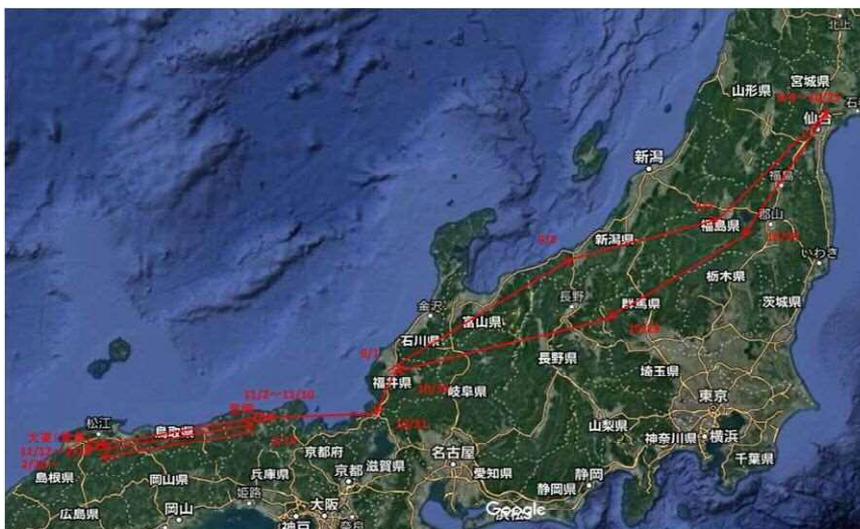
コウノトリ『げんきくん』のこれまでの足どり



- 2014.6.14
越前市の繁殖施設で孵化
- 2015.10.2
越前市より放鳥
- 2015.10.10
宮城県美里町に滞在
- 2015.11.13
関東周辺へ移動
- 2015.12.9
東北から日本海側を南下
- 2015.12.14
島根県へ



- 2015.12.23
長崎県五島列島へ
- 2016.2.8
日本海を渡って韓国へ
韓国に7ヶ月滞在
- 2016.8.30
長崎県壱岐市に帰国
四国を経由して福井県方面へ



- 2016.9.4
宮城県美里町へ
約50日間滞在
- 2016.10.28
福井県へ移動
- 2016.11.2
兵庫県豊岡市へ
9日間滞在
- 2016.11.12
大東町へ移動
大東町が気に入る
- 2017.2.19
豊岡市へ嫁さがし
- 2017.3.23
大東町で産卵

※げんきくんのGPSデータ(福井県HP)から整理した。



コウノトリ誕生のニュース 2017.4.27



誤射でげんきくんの嫁 死亡 2017.5.20



生物多様性研究分科会の佐藤氏の記事



鳥取県東牟婁郡 29日
1月29日、10時頃から経過まで撮影しました。香希くん(J0173)とJ0144は仲が思いやみです。げんきくん(J0118)は普段通り雲南市 大東町の電柱にいました。早朝から10時頃まで、松江市の石原さんよりいただきました。

コウノトリ目撃情報HP 斐伊川河口付近



げんきくん 大東町 2017.8.31
なお、げんきくんは現在京都府にいます。



←2017.7.12
ひなが大東町で放鳥されたニュース